

同志社小学校

DOSHISHA ELEMENTARY SCHOOL



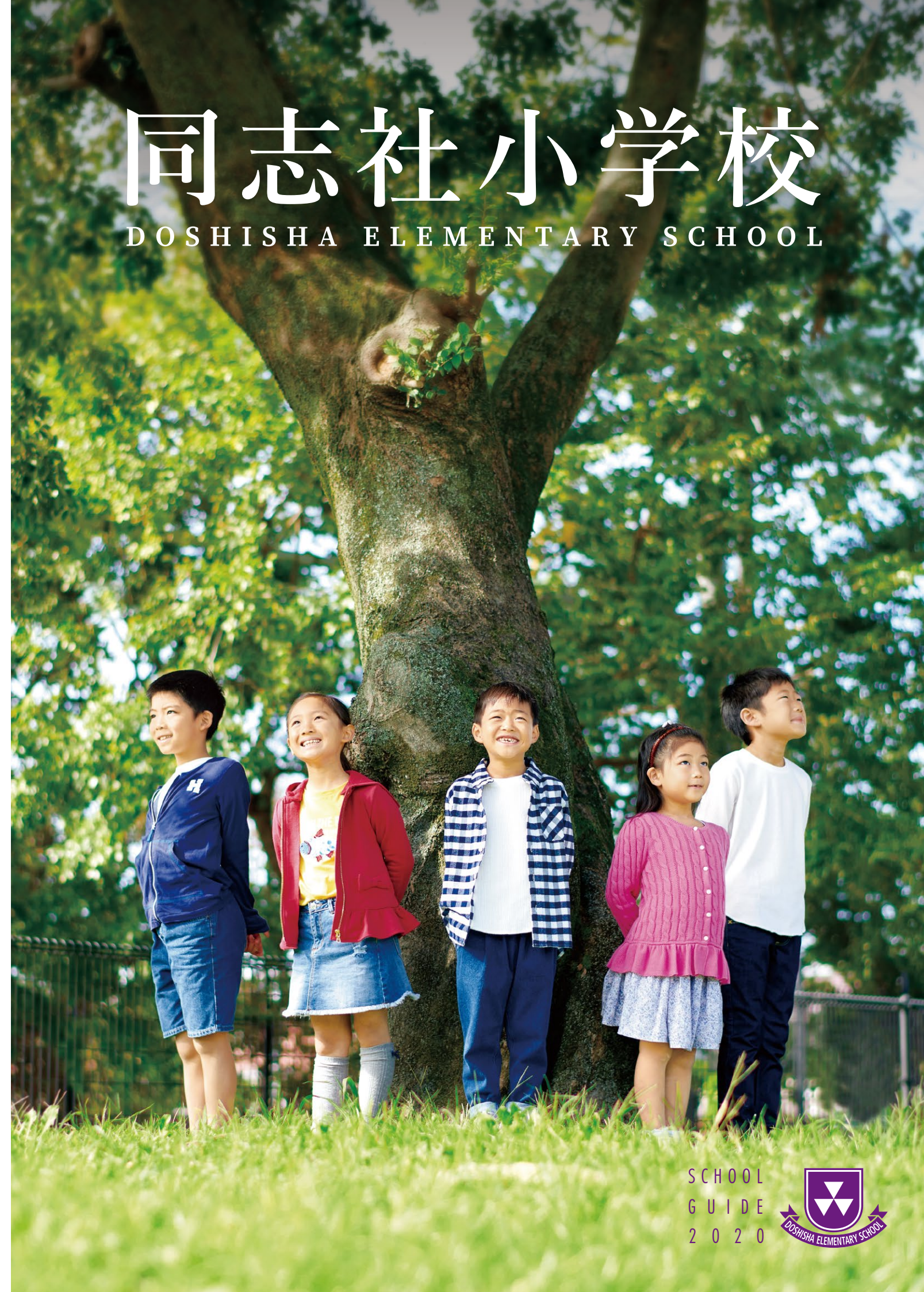
同志社小学校

www.doshisha-ele.ed.jp

同志社小学校

Doshisha Elementary School

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町89-1
TEL:075-706-7786 FAX:075-712-2312



SCHOOL
GUIDE
2020



「えらい人になるよりも よい人間になりたいな」

同志社小学校 校歌

谷川俊太郎 作詞 / 大中恩 作曲

かんじる ゆめみる といかける
こころは ふしぎな
おおきなへや

もりのみどり うみのあおへと
どこまでも すきとおる

せかいは とってもうつくしい

かんじる つたえる おもいやる
からだは やさしい
ちいさなうちゅう

ひとのいたみ かなしみみつめ
ほほえんで てをつなぐ

あすをねがって いのるきょう

えらいひとに なるよりも
よいにんげんに なりたいな

どうしやしょうの
わたしたち

同志社小学校校歌	P.1
同志社小学校が大切にしているもの	P.3
教育の柱	P.7
国際交流	P.10

「道草教育」を知るキーワード	P.13
「道草の先」にある自分だけの新発見	P.15
教育環境	P.17
授業紹介	P.19

特別授業・課外授業	P.21
学校行事	P.23
同志社の一貫教育	P.25
同志社の連携プログラム	P.27

卒業生からのメッセージ	P.29
ご挨拶	P.31
学校指定品／交通アクセス	P.32

見えない ものを 感じる時間

同志社小学校が大切にしているもの

規則にとらわれず、謙虚であり、自由な存在でありつつも、内なる声としての「良心」に従い、自分を律して行動する。このことは、とても難しいことですが、同志社小学校で大切にしていることです。その内側から出てくる「良心」を、さまざまな日常の活動や学びから身につけて欲しいと願っています。それこそが、本当の意味での「えらい人」、すなわち、「よい人間」に近づく道筋なのです。





自ら考え、
行動する

教育の柱
2/ 自由主義

世界を知り、
体験する

教育の柱
3/ 国際主義



〔キリスト教主義〕

良心の涵養

内なる声(良心)が示してくれる真正の自由に基づいた生き方を

毎日の礼拝や宗教の時間、さまざまな宗教行事をはじめ、あらゆる場面を通じて、キリスト教の精神、また良心が少しずつ体に染みこんでいきます。それは、毎日の食事をいただき、体ができあがっていくように、目に見えないけれども時間をかけて一人ひとりの内に起こる出来事です。



毎日の礼拝

Worship Service

心静まるチャペルで毎朝、礼拝を行います。礼拝は、奏楽、聖書の言葉、賛美歌、説教(お話)、そして一人ひとりが自分を見つめつつ、他者のことを思いやり、おみを神に届けようとする祈りの時からなります。また、毎月の誕生者祝福では、命を与えられ、生かされていることへの感謝の時を持ちます。



宗教の時間

Religion Class

聖書の舞台は、場所も時間も現代から遠いところにあります。しかし、物語やたとえ話の持つエッセンスは、今の時代を生きる私たち一人ひとりの心や行動を映す鏡のようなものです。自分にできないこと、限界があることを知り、そのような存在であっても一人ひとりが大切にされなければならない、そのことを感じられるような場へと児童を誘います。



宗教行事

Religious Ceremony

さまざまなキリスト教行事では、他者との関わりを考えます。花の日礼拝や収穫感謝礼拝では、自分たちの命や生活が、決して自分たちだけで成り立っているものではないことを確認し、神への感謝、まわりのさまざまな方々への感謝を、花束や収穫物を献げることで表します。また、クリスマスには、礼拝・祝会を神様にお届けし、さらにミンダナオ島、モンゴルへの物資支援を行い、世界で共に生きる仲間がいることを肌で感じられるよう心がけています。



〔自由主義〕

自治自立の精神

一人ひとりが自ら考え行動する姿勢を育む学びの機会を

学年や学校の枠を超えて、あらゆる人とつながる学びの機会を用意。さまざまな価値観や考え方にふれながら視野を広げ、人間性を豊かにします。



ワイルドローバー (異年齢)活動

共生の精神を育む

1年生から6年生までの児童が力を合わせ、給食や清掃、スポーツフェスティバル、なかよし遠足などの活動を行います。学年の枠を超えたさまざまな活動を通して、思いやりの心や協調性を育みます。



交流活動

人や社会と
ふれあいながら学ぶ

本物と出会う時間や社会へとつながる学びを大切にしています。他校との交流や、地域の自然や文化にふれる体験学習など、多彩なネットワークを活用した幅広い教育プログラムを用意しています。



探究活動

主体的に学ぶ姿勢を養う

一人ひとりの知的好奇心を高める機会として、さまざまな施設や研究機関と連携した学習を実施しています。研究活動やフィールドワークを通して、主体的に学ぶ姿勢や自分の考えを発信する力を育みます。



〔国際主義〕

国際人の育成

違いを超えて、つながりあう喜びを

少人数グループでの英語の授業とともに、海外でのフィールドワークを中心とする修学旅行や異文化交流などを通して、グローバルスタンダードに基づく考え方を養います。



言葉

伝える喜びを知る

世界に目を向け、さまざまな人に「伝えたい」という思いを大切にし、「通じた」、「わかった」という喜びを感じることができる授業を行っています。パラエティーに富んだ楽しい体験を通して、意欲的に学ぶ姿勢を育みます。



文化

違いを認め、視野を広げる

言語の背景にある文化的側面の理解を伴う交流を展開しています。例えば、外国からのゲストを招いて、くらしや考え方の違いについても学び合うなど、体験に基づいた本物の国際感覚を身につけます。



ICT

総合的な学力を磨く

さまざまなアプリケーションやソフトウェアを利用し、リスニングやリーディング、ライティング等の総合的な英語力の向上を目指しています。また、充実したネット環境を活用した海外の学校との日常的な交流を通じて、世界を身近に感じることができます。



国際交流

さまざまな人を通じて異文化交流を大切にしてきた同志社小学校では、1年を通して世界の人々につながる機会がたくさんあります。

アメリカ修学旅行

校祖、新島襄の第二の故郷とも言えるアメリカ・マサチューセッツ州アーモストやボストンを訪問します。10日間の体験学習は、現地の大学生・小学生との交流や、歴史的・文化的な施設への訪問を通して、自国の暮らしや文化、あるいは自己を見つめ直すことのできる貴重な機会です。

8泊10日の旅程



アーモスト大学で新島襄の足跡をたどる ▶ リタイアメントセンターでの交流 ▶ エリック・カール美術館での体験プログラム(ワークショップ) ▶ 会衆派教会訪問 Old South Church ▶ ボストン子ども博物館での日本文化紹介

「さまざまな体験と人々との交流から学ぶ1週間」

現地の方と交流できたことが心に残っています。修学旅行前は、正しい文章で話さない英語が通じないだろうと思っていましたが、実際には、単語だけでも相手の方がニコニコと答えてくれたので、とても嬉しかったです。心から伝えようとすれば、きちんとした英語でなくてもコミュニケーションができてと実感しました。



6年 藤村くん

8月

オーストラリア研修

選考された6年生児童が、St.Joseph's小学校に3週間の留学をしました。協定校として交流している同校で、通常の授業に参加し、ホームステイで充実した生活を送りました。



「コミュニケーション力がアップしました。さらに英語力を身につけたいです！」

豊原くん:オーストラリアの小学生たちは僕たちと考え方が大きく違っていて驚きました。決まりに従うだけでなく、意味を考えて真剣に取り組んでいたところを見習いたいです。掛下さん:4年生の春にオーストラリア短期留学を経験したことがきっかけとなり参加しました。英会話をもちと身につけたいです。

中村くん:毎日、町中の色々な人が話しかけてきてくれることに驚きました。ホストファミリーとプールに行ったことが楽しかったです。

川井さん:最初は英語がわからなくて苦労しましたが、みんな親切でとても楽しかったです。外国の人と交流する機会を利用して、自分から積極的に話しかけたいと思います。



6年 豊原くん 掛下さん

6年 中村くん 川井さん

同志社小学校への受け入れ

隔年で、St.Joseph's小学校と近隣校、そして台東大学附属小学校からの訪問があり、ホームステイ、授業参加などの交流を行っています。

St.Joseph's Primary School



台東大学附属小学校



同志社プレゼンテーション大会(立石杯)

同志社法人内全学校からの代表で行われる英語大会(立石杯)です。9月は、3人からなる2チームが、それぞれのトピックについて英語でのプレゼンテーションを行います。自分の意見を国際的な場で伝えることを目指し、同志社全体で、中高生の模範を見られるという意味でも貴重な機会となっています。



5年 大柴さん

「仲間と協力して創り上げた達成感、英語力の向上を実感しました！」

大柴さん:英語力がアップしたことはもちろん、3人で協力して1つのものを創り上げることも大きな達成感を感じました。

長井さん:長い文章を覚えてプレゼン(発表)することは大変だったけれど、3人で協力して練習することができました。

向井さん:京都には外国人も多く、英語が必要になっているので、これからも英語をもっと勉強したいと思いました。



5年 長井さん 4年 向井さん

台湾への使節団

2017年12月、初めて31名の児童が訪台使節団として現地を訪問し、大歓迎を受けました。授業参加、ホームステイの体験など、充実した時を過ごしました。



5年 小松さん 3年 小松くん

「外国の人と交流する楽しさを実感しました！」

台湾からホームステイに来たお友達と一緒にたこ焼きをつくり、一緒にご飯を食べたりするときに、身振り手振りを使いながら思いを伝え合ったことが楽しかったです。台湾のお友達は、とてもやさしくて弟のことをよく気遣ってくれました。また、私たちも台湾へ行って色々なことを学んでみたいです。

短期訪問プログラム

数年にわたって交流をしてきたSt.Joseph's小学校。最初の交流は、このプログラムがきっかけとなって始まりました。現地授業参加、オーストラリアの自然の体験、ホームステイなどさまざまな趣向を凝らしたプログラムです。

オーストラリアの動物と /



ワーナンブル
海岸で

英語大会(暗唱大会・スピーチ大会)

同志社法人内全学校からの代表で行われる英語大会(立石杯)です。2月は、代表3名が、聖書の物語や新島襄と同志社の関係に関する文章を暗唱します。海外へ出て行った新島襄の思いや道のりを英語で発表するよい機会となっています。



国際理解・交流 International Exchange



海外の協定校・交流校 Partnership Schools

オーストラリア

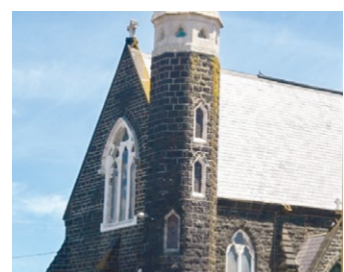
St.Joseph's Primary School

1851年に創立されたオーストラリア ヴィクトリア州ワーナンブルにある私立のカトリック学校。ヴィクトリア州は、日本語教育に熱心で、日本語の講座も開講されています。相互に学校を訪問したり、Skypeを用いた授業を行ったりして交流を続けています。



St Patrick's Parish Primary School Port Fairy

1849年に創立されたオーストラリア ヴィクトリア州ポートフェアリーにある児童数約200名の私立のカトリック学校。6年生の短期留学先として児童が授業参加し、ホームステイをするなど交流を実施しています。



台湾

台東大学附属小学校

1895年に創立された、国立台東大学の附属小学校。1300名からなる大規模校で、環境教育や地域文化教育の相互理解に向けての交流を行っています。日本からの距離も近く、さまざまな交流の形を模索しています。



淡江高級中学附属小学校

1914年に創立された、台湾で最初の私立神学校、淡江高級中学。かつては多くの日本人が学び、またこの学校から同志社へ多くが留学していました。2007年に授業の50パーセントを英語で行う附属小学校を展開。



アメリカ

Mater Dolorosa Catholic School

1896年に創立された、アメリカマサチューセッツ州ホリヨークにある私立のカトリック学校。数年にわたって交流を続け、6年生の修学旅行時に訪問し、授業への参加、日本や同志社小学校について紹介するための発表を行っています。



京都国際フランス学園

Lycée Français International de Kyoto

フランス教育省に認可されたフランス人家庭、日仏家庭、フランス語圏の家庭のための学校。1992年に設立。京都や日本の行事の交流、授業やクラブの体験など、異文化理解を深める活動を定期的に行っています。



「道草教育」を知る キーワード *Keyword*



同志社小学校では、子どもたち一人ひとりの自由な発想を大切に、
学ぶことそのものを楽しみながら理解を深めていくことができるような教育を日々心がけています。
それは与えられる学びではなく、自ら答えを導き出す学びであり、
その答えにいたる過程や思考のプロセスを大切にしたい学びです。
開校以来、私たちが実践してきた道草教育には、「学ぶことは楽しい!」と
実感できる仕掛けがたくさんつまっています。

STEP 2 主体的な学びがもたらすもの

学ぶことを 学ぶ

学ぶ価値を見つけ出し、
感性をみがぎ、受け身ではなく
自発的に、情熱をもって
学びに向かう。

伝える 喜び

自分の考えていることを
どうやって人に伝えるのか。
わかってもらえた
喜びを感じる。

「考える」から 「わかる」へ

「なぜ」と問いかけ
自分で考え抜き
本当の理解につながる
経験をする。

学校の外も 学びのフィールド

社会に目を向けると
そこにはたくさんの知恵や技術がある。
学びは、決して教室の中だけに
あるのではない。

仲間と共に 学ぶ

自分だけでは限界があることも
互いの協力で
世界が開ける。
それぞれの良さを生かす。

本物から 学ぶ

さまざまな研究機関とつながり
専門知識と出会い
実際の体験から
学びを深める。

STEP 1 学ぶ力を育てる仕組み

テーマは 自分の興味から

見たい、聞きたい、やってみたい!
一人ひとりの好奇心を
出発点に、とことん探究する
楽しさを味わう。

STEP 3 自分らしく未来をひらく人へ

自分らしさを 伸ばす

それぞれが良さを認め合えば
唯一無二である自分の存在を、
自分らしさを大切にできる。

未来へ続く 学び

小学校での学びは
決して小学校で終わるものではない。
そこから始まる未来への
助走となる。

「道草の先」にある

自分だけの新発見

Discovery



道草研究では、子どもたちが選んだテーマに沿って研究し、多様な表現活動に取り組みます。学びの過程において子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたち自らが主体となって行動しようとする芽を見逃すことなくサポートします。



1年

- 左/伊藤 創介 **グッピーのち魚**
- 中/北川 瑞歩 **カブトムシの毛**
- 右/ヴァンペーション・ルーイ **ヤモリとトカゲ**

伊藤くん:動画や本を使って、グッピーのち魚が生まれる様子を調べました。卵ではなくお母さんの体から生まれることに驚きました。
北川くん:カブトムシの毛にはダニを落とす役割があると知りました。
ルーイくん:つかまえるえものの違いで、ヤモリとトカゲは手の形が変わることを学びました。分からないことも調べれば分かるということを実感しました。



3年 竹本 慎平

清酒ができるまで

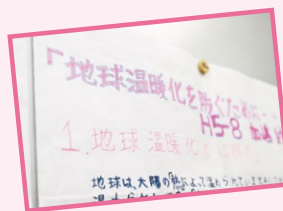
家の近くに有名な酒ぐらがあったので、清酒に興味を持ちました。昔は十石船と呼ばれる船でお酒が運ばれていたことや、職人さんによって道具の編み方が違うことなどを知り驚きました。また、伏見の湧き水も全て訪問してその特徴などを調べました。清酒づくりの一番のポイントはお酒のなめらかさを左右する精米の工程だということが分かりました。



5年 加嶋 紗良

地球温暖化を防ぐために

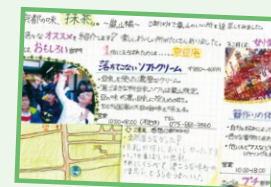
地球温暖化を防ぐために家庭でできる対策について根拠となるデータをもとに調べました。温暖化による海面上昇で沈む国があると知ったときは、環境問題が地球全体の責任であると感じました。難しい言葉もわかりやすく説明する練習を何度もすることで、聞く相手のことを考える大切さを学びました。



6年 西村 綾子

ほんまにいいもの 見つけようー嵐山ー

関東の小学生に京都の魅力を紹介するにあたり、嵐山の研究をしました。渡月橋や嵯峨野の竹林など見どころが多く、誰でも楽しめる場所だと思ったからです。実際にお店の人の話を聞くなど、京都を見つめ直すことで、新しい発見もありました。プレゼンでは絵や写真を用いることでより臨場感を持ってもらえるよう工夫しました。



6年 山本 卓哉

オリジナル発電機の製作

4年生の頃から磁石とコイルを使った発電装置を手作りしています。野菜の水切り器の回転を利用したものや、コイルの空洞の中で磁石を振動させるものなど、工夫と改良を続けています。これからは、電気を充電したり、消費したりしながら同時に発電できる仕組みを研究して、地球環境にも良い発電装置を開発したいです。



表記の学年は発表当時の学年です。

教育環境

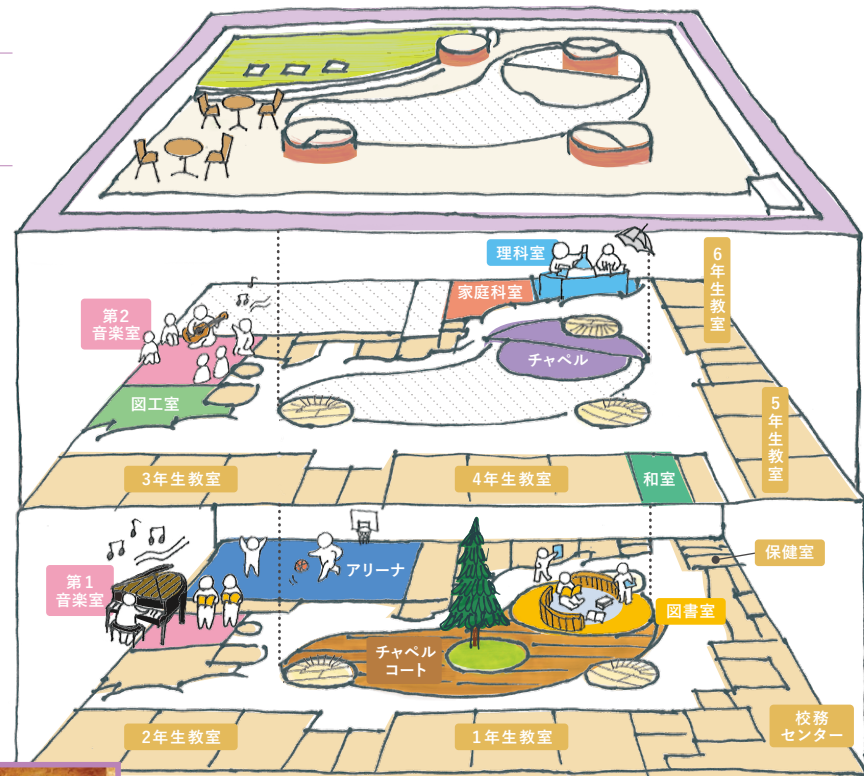
開放感あふれる校舎が
子どもたちの自由な創造性や
コミュニケーション能力を育みます

チャペルコート

設計コンセプト

ワンルーム スクール

「ワンルームスクール」というコンセプトのもと設計された同志社小学校の校舎。どこにいても複数の教室が見渡せる造りは安全面に優れているだけではなく、教育の柱の一つである自由主義も象徴しています。クラスや学年を超えた活発なコミュニケーションを実現できる環境の中で子どもたちは多様な価値観や感性にふれながらのびやかに成長することができるのです。



one room school

アリーナを含むすべての教室が吹き抜け空間のチャペルコートを中心に配置されています。校舎全体が一つの大きな部屋のような造りになっています。

デン

校舎の色々な所にある小さなスペース「デン(DEN)=隠れ家」は子どもたちの楽しい交流の場。

施設紹介



ICT設備



タブレットやノートパソコンなどのICT機器をさまざまな授業で使用しています。子ども1人に1台の充実したICT設備を活かした教育で、子どもたちの学びをサポートします。



授業紹介



国語



言葉の持つ価値を実感し、活用する

言葉の価値を見出し、その価値を体験的に学び取り、実感することのできる学習過程を大切にしています。実感としてつかみ取った言葉の価値は、さまざまな教科の学びにおいて目一杯活用され、子どもたちの学びを支えています。

社会



社会に関心を持ち、自分ができることを考える

現代社会を生きる子どもたちには、広い視野を持ち、人や社会のために、良心をもとに正しく判断する力が大切です。自分に「何ができるか」を伝え合い、提案する力を養うため、社会のさまざまな事象について真剣に考える体験型学習の機会を数多く設けています。

英語



英語でおもいを伝え、世界を学ぶ楽しさを実感する

思いやりの心を持ったコミュニケーションを通して、文化、宗教、習慣の違いを互いに認め合うことができるような国際感覚を養います。そのために、修学旅行で海外を訪れたり、留学生や協定校と国際交流をするなど、世界中の人々との繋がりによる多種多様な学びを実現しています。

体育



基本的身体能力を磨くことで生まれる高いコミュニケーション能力

授業はもちろん、行事や課外活動を通じて、基本的な身体能力を磨き、身体を動かす中でのコミュニケーション能力を育成します。一人ひとり違った個性や感性を大切にしながら自然に身体を動かすことが大好きになる…そんな思いやりのある心を育てます。

算数



子どもたちの感性を大切に、楽しみながら深く学ぶ

身の周りの形や自然界の事象に不思議な美しさを感じるのには、そこに潜む数学的な規則性のためです。算数では多様な考え方にふれ、自らの考えを表現し、発見する喜びを大切にしています。豊かな思考力を身につけ、本質を深く学ぶことを目指しています。

理科



自然科学の不思議さと面白さをとことん味わう

実験や観察をもとに考えることを大切にしています。実験設備やICT機器の充実はもちろん、岩倉の豊かな自然環境を生かした取り組みや、さまざまな研究機関と連携した最新の科学技術を学ぶ特別授業を積極的に行っています。

家庭科



衣・食・住の体験的な学びを通して、生活を豊かに

子どもたち一人ひとりの五感を大切に、仲間との対話を進めながら学んでいきます。互いが関わり獲得した学び・気づき・発見により、子どもたちが、家庭の生活をより豊かにすることを目指しています。

道草



教科書には載っていない学びの感性を磨く

人・もの・ことなど、社会や自然のすべてを先生として、子どもたちの好奇心や興味関心を生かす取り組みを大切にしています。それぞれの目標に合った探究活動を通して、学びの本質を知り、学んだことを相手に伝えることで表現力やコミュニケーション能力も育みます。

音楽



音と戯れ、感じることから考えることへ

思いのままに音楽を感じ、感じたことを仲間と分かち合う中で、自然に学ぶことへ導かれるような環境を提供しています。音符や楽譜の背景にある意味を広く、深く体得するため、生活の中での具体的な事象と抽象的な音楽概念を結びつけながら学習していきます。

図画工作



人と違うからこそおもしろい、自分を知り表現する

感性から生まれたおもいを具現化させるために工夫し、色々な方法を試してみる中で、「世界に一つだけ」の作品が生み出されます。作品をつくり出す過程や完成した作品によって、自分のおもいを見つめ、発見し、自分らしく表現することを大切にしています。

1年生の時間割(例)

	月	火	水	木	金
朝	礼拝(8:30)				
1	図工	体育	国語	国語	算数
2		音楽	体育	ことば	英語
3	英語	英語	算数	算数	宗教
4	算数	書写	ことば	体育	国語
5	国語	国語	道草	道草	道草
6	道草			音楽	
7					

6年生の時間割(例)

	月	火	水	木	金
朝	礼拝(8:30)				
1	算数	社会	音楽	英語	算数
2	国語	算数	算数	書写	国語
3	図工	家庭科	体育	理科	道草
4			理科	理科	国語
5	社会	体育	クラブ活動	国語	英語
6	体育	英語	クラブ委員会活動	社会	音楽
7	道草	国語		算数	宗教

※隔週で家庭科とクラブ活動の1時間が「道草」になります。

例えば…

1年生では、宝ヶ池公園散策中に見つけたオオセンチコガネを研究しました。子どもたちの「見てみたい」「触ってみたい」という好奇心から「どこに住んでいるのだろう」「一体何を食べているのだろう」などさまざまな疑問が生まれます。公園内のどこによく生息しているのか探したり、いろいろな種類の食べ物を与えたりして、この疑問を解決していきます。道草の時間では、子どもたちの好奇心や興味関心をもとに研究を進めることで、一人ひとりの学習意欲を高め、主体的に活動する芽を育てます。



特別授業

本物体験を通して感性を磨き、
情熱をもって学ぶ楽しさを味わいます。

理科

わくわくする体験によって科学を楽しみ、深く学ぶ授業



Science in English
～発電機をつくろう！～



てこで車を
持ち上げよう！



理科の自由研究

図画工作

本物の芸術家から
学ぶ授業



絵本作家・谷口智則氏による
絵本の授業

体育

全学年がクラス対
抗で行う知力と体
力を結集した競技



ロードグラスリレー

家庭科

家庭科教諭と栄養教諭によるオリジナル授業



プロから学ぶ
「味覚の授業」



体験から学ぶ
「食育の授業」

音楽

第一線で活躍するプロによるアウトリーチを行うなど、
本物の音楽にふれる授業。



ファゴット体験



授業での演奏

英語

英語を用いた交流を通してグローバルな感覚を磨く授業



台湾の友達と学習
in 総合地球環境学研究所

社会

積極的に校外
活動へ出かけ、
社会とつながり
ながら学ぶ授業



研究室訪問

道草

体験を通して、一人ひとりが主体的に学ぶ授業



2年生 たまねぎの研究
～種から育てよう～



4年生 車いすバスケの授業
～誰もが関わり合えるように～



3年生 京染体験
～伝統産業の魅力にせまる～

課外活動

放課後や休日を利用した活動により、
子どもたち一人ひとりの個性を伸ばします。

陸上スポーツ教室

3～6年生約150人が参加する陸上競技の放課後クラブ。すべてのスポーツ
の元となる「走」の原点を見つめ、活動しています。



音楽活動

自分らしい自由な表現を大切にしながら、ミニオーケストラは1年を通して、Kids' Choirは1学期に、聖歌隊は2学期に、
ミュージカル活動は3学期に活動しています。



自然学習

岩倉の豊かな自然環境や研究機関を生かしたさまざまなサイエンスプログラム。



昆虫のお話会

岩倉川探検隊

岩倉川についての調査研究発表

ホテルのタベ
～音楽コンサート in 京都水族館～

[Book Reading Circle]



[We Love Books!!]



国内外の文学作品の世界を楽しむ月1回の「We Love Books!!」、多読・多聴
を通じた英語学習を行う週1回の「Book Reading Circle」があります。

学校行事

一瞬一瞬が笑顔と成長につながる日々。
同志社小学校には、生きる力の育成へとつながる
多彩な学校行事があります。



- 4月
- ・始業式
 - ・入学式
 - ・授業参観・懇談会
 - ・入学おめでとうの会
 - ・ワイルドローパー 結団式
 - ・なかよし遠足
 - ・校祖墓参



- 5月
- ・土曜参観
 - ・良心探求ウィーク
 - ・花の日礼拝
 - ・2年生宿泊体験学習
 - ・3年生宿泊体験学習
- 6月
- ・4年生宿泊体験学習
 - ・6年生修学旅行



- 7月
- ・個人懇談
 - ・終業式
 - ・1年生宿泊体験学習
 - ・水泳教室
 - ・プログラミング教室
 - ・自由研究相談会



- 8月
- ・自由研究相談会
 - ・5年生宿泊体験学習
- 9月
- ・始業式
 - ・授業参観・懇談会
 - ・外部講師を招いた特別礼拝
 - ・国際交流ウィーク



- 10月
- ・スポーツフェスティバル
 - ・ハロウィンパレード



- 11月
- ・収穫感謝礼拝
 - ・クリスマスツリー点灯式
 - ・良心探求ウィーク
 - ・創立記念礼拝
 - ・読書週間



- 12月
- ・クリスマス礼拝・祝会
 - ・終業式
 - ・個人懇談



- 1月
- ・始業式
 - ・創立者永眠記念礼拝
 - ・6年生ポスターセッション
- 2月
- ・授業参観・懇談会
 - ・留学生ウィーク
 - ・同志社幼稚園との交流会(1年生)
 - ・6年生法教育



- 3月
- ・ワイルドローパー 解団式
 - ・卒業記念礼拝
 - ・卒業おめでとうの会
 - ・卒業式
 - ・修了式



Pick up 行事

毎年行われる宿泊体験学習

子どもたちの成長に合わせて宿泊数や距離を増やし、自立を促しています。

- 1年生 ▶ 学校合宿(1泊2日) → 集団生活を通して自立への第一歩を踏み出します。
- 2年生 ▶ 京都府(1泊2日) → 大自然の中での活動を通して仲間の大切さを実感します。
- 3年生 ▶ ハチ高原(2泊3日)
- 4年生 ▶ 群馬県(3泊4日)
- 5年生 ▶ 北海道(4泊5日) → 新島襄の足跡をたどりながら、同志社精神を学びます。
- 6年生 ▶ アメリカ(8泊10日)

道草発表会

各学年ごとに共通のテーマに沿って、道草研究やプロジェクト活動に取り組み、その成果を発表します。



クリスマス礼拝・祝会

イエス様は闇の中で私たちを照らす光となりました。
この喜びを分かち合う機会がクリスマス礼拝・祝会です。





DOSHISHA SPIRIT

ONE PURPOSE

受け継がれる同志社の精神



※同志社大学提供

同志社の創立者
新島 襄

Joseph Hardy Neesima
(1843 - 1890)

彼の教えを受け継いだ数々の教育者たちの手によって、人間性の根幹たるものを育もうとする「同志社スピリット」とも呼ぶべき、独自の教育理念が確立されていきました。この新島が理想とした教育理念は、140年を経た現代社会においても、色褪せるどころかますますその重要性を増しています。

〈良心教育を目指して〉

良心碑「良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ」

良心を手腕に運用する人物、一国の良心ともいうべき人物を輩出したいという、新島の教育理念を表明した、同志社教育のシンボルです。

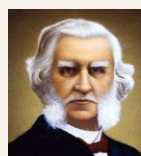


新島襄と同志社にゆかりの深い人たち



Davis

ジェローム・
ディーン・デイヴィス
(1838～1910)
同志社英学校
初代教員



Hardy

アルフィアス・
ハーディー
(1815～1887)
新島襄を支えた
アメリカの父



Learned

ドウェイト・ウィット
ニー・ラーネッド
(1848～1943)
同志社大学の
基礎をつくった人物

同志社小学校のクラス名は、これら3人の名前にちなんでつけられています。

スクール・カラーは、Purple&White(紫と白)の2色です。紫はロイヤル・パープルで日本の古代紫と江戸紫の中間色に相当します。創立者新島襄が学んだ米国アーモスト大学のスクール・カラーと同色です。



保護者の声 [明心会会長メッセージ]



明心会会長 長村 修治

キラキラと目を輝かせ元気いっぱいの同志社小学校の子どもたち。私はそんな同志社小学校の子どもたちが大好きです。これから未来へと羽ばたいていく、可能性がいっぱい詰まった子どもたち。そんな子どもたちの人間形成の基盤となる大切なこの6年間。豊かな自然に囲まれた同志社小学校で、良心教育や道草教育などを通して、一人ひとりをみとめ大切に育ててくださる

環境の中、豊かな感性を大切に、子どもたちは本当に楽しい学校生活を送っています。お互いの個性を尊重し、学年を問わず仲が良い子どもたちは、いつ見てもとても素敵です。同志社小学校の校歌の歌詞にもあるような、「よいにんげん」に育ってくれることを期待しています。

卒業後の 進路について

同志社では、一人ひとりの個性と能力に応じた推薦進学制度を充実させることで、幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学・大学院まで、一貫教育を実現しています。同志社小学校からは、本人や保護者の希望に基づいて、同志社中学校、同志社香里中学校、同志社女子中学校、同志社国際中学校へ推薦によって進学する道が開かれています。



同志社における連携教育により 幅広い学びを実現します。

2つの大学・大学院、4つの中学・高等学校、2つの小学校、幼稚園およびインターナショナルスクールを併せ持つ総合学園である学校法人同志社。そのメリットを最大限に生かし、同志社小学校では各学校と連携した教育プログラムを実施。幅広い教育活動を実現しています。

幼・小・中・高・大 全同志社連携プログラム

同志社英語大会 (立石杯)



2015年度から始まった、幼稚園と小・中・高合わせて7つのすべての学校が参加する、法人主催の英語大会です。2学期にはプレゼンテーション大会、3学期には暗唱・弁論大会が行われ、他者の前で発表を行うことを通じ、相手に伝わりやすい、実践的な英語力の向上を目指しています。

幼稚園・小学校との連携プログラム

幼稚園との交流会



1年生が幼稚園の年長さんを招待して交流をしています。道草研究で調べた昔遊びを、わかりやすく伝えて一緒に遊んだり、一緒に給食を食べたりしながら小学校の生活を紹介します。小学校の中では最年少の1年生ですが、2年生への進級を前に、先輩としての心の準備を整え、1年間で大きく成長したことを実感することのできる行事です。

小学校合同 リトリートキャンプ



同志社国際学院初等部と同志社小学校の4年生希望者が1泊2日の交流キャンプを行います。2校の児童、教員、大学の留学生が同志社びわこリトリートセンターに集い、英語礼拝や英語学習の体験を通して友情を育みます。

中学校・高校との連携プログラム

天体観望会



毎年4年生の理科の特別授業として、同志社中学校・高等学校の天体ドームでの天体観望会を実施しています。同志社中学・高等学校の先生や地学部OB・OGの方の指導のもと行う野外活動は忘れられない貴重な体験です。

岩倉キャンパスクリスマス



毎年12月に同志社中学校・高等学校と合同でクリスマス礼拝を行います。在校生や保護者はもちろんのこと、近隣の住民の皆様にもお越しいただき心温まるひと時を過ごす、恒例行事です。

ようこそ先輩



同志社中学校の先輩たちを招いて課外活動で交流をしたり、中学校生活を介绍してもらったりしています。英語クラブのみなさんによる英語の本の読み聞かせ、聖歌隊合同練習など、いろいろな場面で親身になって語りかけてくれる先輩たちの言葉が心に深く残る貴重な機会です。

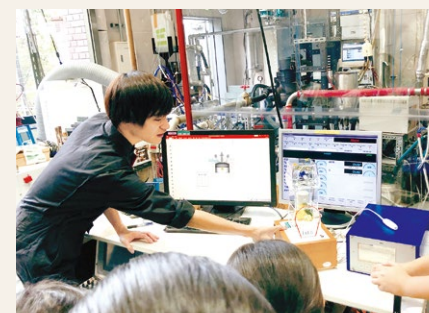
大学との連携プログラム

法教育



ロースクールの先生方と大学院生の方に協力いただき、6年生を対象とした、模擬法廷体験を実施。本物の法廷と同様の設備で裁判の様子を体験し、弁護士や裁判官や陪審員になったつもりで真剣に考え、討論します。「小学生のための刑事裁判入門」として、毎年実施しています。

サイエンスキャンプ



同志社大学理工学部において開催するサイエンスキャンプ。同志社小学校6年生が参加し、さまざまな最先端の科学を思う存分楽しむことができる貴重な機会です。電磁気学、エネルギー変換技術、電子顕微鏡、自動車のエンジン開発、火薬ロケット作りなどバラエティーに富んだ内容のプログラムを体験します。

フォーミュラーカー大研究



同志社大学機械研究会をお招きして行っている特別授業。学生が作製した本物のフォーミュラーカーを小学校へ運び入れ、運動場でエンジンの仕組みやスピードを上げる工夫などについて学び、走行実験に取り組みます。大学教授と学生の方々から「ものづくり」や「科学研究」のヒントをたくさん教えていただき、夏休みの自由研究へつなげます。



幼稚園との交流会



リトリートキャンプ



戦争体験を「ツナグ会」
(同志社大学生との交流)



岩倉キャンパスクリスマス



法教育



サイエンスキャンプ



フォーミュラーカー大研究



学年を超えた仲間は 今でもかけがえのない 存在です

同志社大学2年
〔2011年度卒業〕 田中 あみさん

ミュージカルやミニオーケストラの活動を通して、自分を表現するだけでなく全員で一つのものをつくる楽しさを学びました。パート別練習で意見を出し合ったり、さまざまな学年のメンバーと協力したり、コミュニケーションがとても楽しかったです。当時の仲間とは今も連絡を取っています。また、大学生になって同志社小学校の宿泊体験学習に参加しましたが、改めて先生方の偉大さを実感するとともに、子どもとの接し方を学びました。将来は教師など人と関わる仕事を目指しています。



好奇心と チャレンジ精神を 育むことができる環境です

慶應義塾大学1年
〔2012年度卒業〕 宮本 景さん

北海道やアメリカなど国内外のさまざまな地域で新しい挑戦ができたことで、周囲への興味がどんどん広がりました。また、自分とは異なる環境で育った仲間も多く、自由に意見を言える環境だったので、多様な考え方を受け入れる力も身につきました。一方で、授業は教科担任制のものが多く、専門性の高い知識を吸収できるのも同志社小学校の大きな魅力です。小学生時代に培ったチャレンジ精神や好奇心、専門性を武器に、大学では法学の勉強と、大好きなサッカーの両立を目指して頑張ります。



楽しい仲間たちとの 挑戦で成長することが できました

同志社国際高等学校1年
〔2015年度卒業〕 石井 美優さん

同志社小学校には授業や行事を通して仲間と協力する機会がたくさんあります。特に印象深いのは、4年生のチャレンジウィークでダブルダッチに挑戦した時のこと。何度も練習し、最後にクラス全体が強い絆で結ばれた感動は忘れられない思い出です。私は現在、チアリーディングのジャパンカップ決勝進出を目指して奮闘中。部活動に加えて、ランニングなどの自主練習にも取り組んでいます。チームと協力する力や目標に向けて主体的に行動する力は現在のチャレンジにも活かしています。

卒業生からのメッセージ

卒業後も続く 同志社小学校からの学び

同志社小学校での6年間を通して、自分らしさを大切にし、挑み続けることの意義を学んだ卒業生たち。学んだ知識や習得したスキルを発揮しながら、中学校、高校、大学とそれぞれのフィールドで活躍しています。



多様な個性を活かし 合えば不可能なことは ありません

同志社高等学校1年
〔2015年度卒業〕 有田 寛さん

大文字駅伝に出場した経験は僕の宝物です。同志社小学校開校以来の出場だったため練習はとても大変でしたが、同じ目標を持つ仲間と素晴らしい時間を共有することができました。また、歌や踊り、マイムなどそれぞれが自分の得意分野を活かし、全員が主役となって創り上げたヤングアメリカンズとの舞台も忘れられません。現在、バレエダンサーと陸上選手という二つの大きな夢に向かって努力できているのも、同志社小学校での経験が“不可能なことはない”と教えてくれたからです。



自分の興味を 追求しながら多様な 価値観も学びました

同志社女子中学校2年
〔2017年度卒業〕 関 伊吹さん

道草研究では、興味を持った分野をとことん探究する力を育むことができました。3年生の時に取り組んだアサガオの研究は、方法やテーマを変えて卒業後の今でも続いています。また、6年間毎朝行われる礼拝では、先生方のいろいろな話から、多様な個性や感性を互いに認め合う大切さを学びました。宗教委員として、礼拝での奏楽の演奏や司会進行を務めただけでなく、障害者福祉施設なども訪問。さまざまな活動を経験できたことで、将来は社会の役に立てる仕事に就きたいと思うようになりました。



グローバルな経験が 自分自身の可能性を 広がってくれます

同志社香里中学校3年
〔2016年度卒業〕 山田 真央さん

6年間英語の授業があるうえ、ネイティブの先生とも話せることは同志社小学校の大きな魅力です。修学旅行はアメリカへ行き、新島先生が通っていたアーモスト大学で、現地での勉強や生活の大変さを体感するとともに、海外の人々とおつながる喜びを知りました。また、道草授業で身についた「自分で考えて行動する」精神が今の私の土台となっています。進学する中学を自分で考え抜いて決め、将来の目標もキャンピングアテンダントに決めました。現在は夢に向かって英語以外に韓国語も勉強中です。

えらい人になるよりも、 よい人間になりたいな

同志社小学校 校長
横井 和彦

同志社小学校は、校歌にもうたわれているように、「よい人間」に近づくために、「良心」を日常の活動や学びから身につけて欲しいと願っています。そしてこの「良心」は、建学の精神として「良心教育」を掲げ、「自由主義」・「キリスト教主義」・「国際主義」を教育理念としている同志社大学へと連なるものなのです。

本校の学びにおいては、開校以来、「道草教育」を続けています。それは、与えられる学びではなく、自ら答えを導き出す学び、あるいは、答えにいたる過程や思考のプロセスを大切にしたい深い学びという、自由なものの見方や考え方を尊重し、お互いの良い所を見つけ合う教育です。そして、自分の考えをもとに、自分らしい方法で、自分なりの目的をもって不思議や疑問に挑む基盤として「人を思いやること」、すなわちキリスト教主義に基づく良い心を育成します。さらに、アモスト大学への修学旅行をはじめ、オーストラリアや台湾の小学校との交流など、国際交流にも力を入れています。グローバル化が進んだ今日では不可欠である、お互いに違うことを認め合うことができる「真の国際人」となるよう願っているのです。



「良心を手腕に運用できる人物」を 育成する、同志社の教育

自由主義の学校、同志社。しかし、この自由はキリスト教に基づく「良心」が根源になればなりません。
同志社小学校では、一人ひとりの児童を大切に、自由な発想で社会に貢献することのできる人物を育てていきます。



学校法人同志社
総長・理事長

八田 英二

わが国の私学はそれぞれ独自の教育活動を展開しています。そして同志社の教育活動は新島襄のキリスト教主義教育思想に根差しています。早稲田の創立者大隈重信侯は明治年間の功労顕著なる教育者として、新島襄と福沢諭吉の名を挙げ、「福沢先生は大いなる常識を備へて西洋の物質的智識の教育を施し、独立自尊の倫理を説き且つ実行した人なるが、新島先生は又之と趣を異にし、キリスト教主義の精神的教育を施し、生命あり活気あり真理を重じ主義を重ずる人物を作るを目的とせられたり」と評しています。建学の精神を高く掲げ、これからも同志社は一貫教育体制のもと一国の良心ともいべき人物の育成に努めてまいります。



同志社大学
学長

松岡 敬

同志社は、「良心教育」を建学の精神とし、三つの教育理念「自由主義」・「キリスト教主義」・「国際主義」を掲げています。「自由主義」は個人を大切にすること、「キリスト教主義」は人を敬い愛する心、「国際主義」は広い視野で世界を見つめ理解する心。この理念に基づいて、個を尊重した自由な環境で教育を実践しています。同志社小学校の校歌に「えらい人になるよりもよい人間になりたいな」とあります。「えらい人」は国や社会、組織、時代によって異なりますが、「よい人」は場所や時代を問わない普遍性をもっています。小学校から大学・大学院に至る同志社の一貫教育の中で、これからの世界にも通ずる「良心を手腕に運用する人物の育成」を目指してまいります。

同志社小学校 制定品



同志社リュック
[通学かばん]

高学年用(右)については、
4年生以上の希望者が
使用できます。

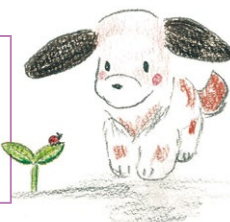


低・中学年用 高学年用

ノート



べんけいくん
「弁慶号」という名の新島襄の愛犬、ビーグル犬。私たち一人ひとりを見守る「番犬」をイメージした同志社小学校オリジナルのキャラクターです。



同志社小学校へのアクセス

路線図



周辺map



登下校の安全管理について

■ IC タグによる安全管理

子どもたちの登下校安全確保の一環として、登下校安全システムを導入しています。IC タグを所持した児童が登下校時に校門および叡山電車岩倉駅を通過した際、保護者の携帯電話や PC 等のメールアドレスへメールが配信されるシステムです。



■ 登下校路は敷地内

登下校時に、最寄り駅から校門までの通学路において交通量の多い交差点の5ヵ所に交通指導員を配置し、児童の安全を確保しています。学期初めなど、年間を通して、定期的に、教職員も電車内、最寄り駅での登下校指導を行います。



同志社小学校 説明会情報

学校説明会

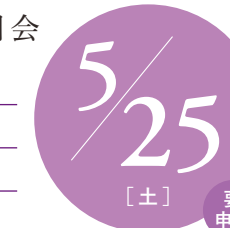
- ・学長挨拶
- ・学校紹介
- ・同志社大学(今出川キャンパス)見学



会場：同志社大学(今出川キャンパス)

学校説明会

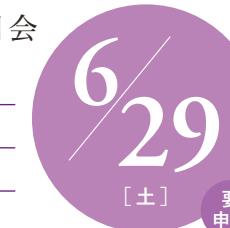
- ・授業公開
- ・校舎見学
- ・個別相談



会場：同志社小学校

2020年度
入試説明会

- ・体験授業
- ・校舎見学
- ・個別相談



会場：同志社小学校

詳細はwebサイトを御覧ください。

検索 同志社小学校

www.doshisha-ele.ed.jp

